

大曲厚生医療センターでは、 夜間・休日の救急診療に 「トリアージシステム」を導入しております。



「トリアージシステム」とは・・・

- 救急外来の受付後、症状の強さ、痛みの程度から重症度を4段階に分類し、重症度の高い方から順に医師が診療をおこないます。
- 医学的に重症だと判断される患者様を優先して診察し、重症者の方の待ち時間の短縮を図ります。
- 緊急度が低い患者様の診察が後になることもあります。
- トリアージ（重症度の判断）は、救急診療の経験を積んだ看護師がおこないます。

近年、救急診療での患者数は、増加の一途をたどっており、救急受診の皆さまには診察までの待ち時間が長くなり、ご迷惑をおかけいたしております。

しかし、病院職員のマンパワーには限界があり、このままでは、確実に安全な医療が確保できない、重症者への対応が遅れる、などの事態が心配されます。

その対応策の一つとして、大曲厚生医療センターでは、平成24年5月より、夜間・休日の混雑する時間帯において、従来の「受付順の診療」ではなく、「緊急度に応じた適切な医療」とする「トリアージシステム」を導入しております。

新しい体制により、ご迷惑をおかけすることもあります。みなさまのご理解ご協力をお願い申し上げます。